



【発信日】令和3年1月21日

【問合わせ先】

大野市役所（1階 10番窓口）

産経建設部 幹線道路課 林、山田、田中

電話 0779-66-1111（内線1601、1602）

「荒島第一トンネル」貫通石で受験生を応援！

～市内全校の中学3年生に合格祈願「お守り」を寄贈します～

中部縦貫自動車道 大野油坂道路 荒島第一トンネルの掘削工事の現場から採取した「貫通石」で合格祈願のお守りをトンネル掘削者の大成建設（株）関西支店が作成し、大野市内の中学3年生に寄贈します。

つきましては、下記のとおりお守りを学校に届けますので取材をお願いいたします。

記

- 1 寄贈の日時及び場所 1月26日（火） 午後1時20分～（10分程度）
大野市立開成中学校 校長室
※生徒を代表して生徒会長に渡します。
- 2 寄贈対象者 大野市内の中学3年生（5校 278名）
他の中学校には、幹線道路課の職員が届ける予定です。
- 3 提供資料 別紙のとおり
- 4 集合場所・時間 取材希望の方は、開成中学校の玄関に午後1時にお集まりください。
※幹線道路課の職員が待機しています。

合格祈願お守り

「トンネル貫通石で難関突破・初志貫徹」



貫通石のいわれ

この石は、荒島第1トンネルの貫通地点の岩石の一片で、貫通石と呼ばれ、安産の御守りとして重宝するならわしがあります。また、苦勞して工事を成し送げた土木技術者の勲章にもなっています。

昔、神功皇后が、戦いのときに洞窟を掘って敵の背後から攻め込んで勝利を収め、その記念に貫通点の石を持ち帰りました。そして、自らのお産のとき、その石を枕元においたところ、とても楽に男の子（応神天皇）を出産することができました。以来、トンネル貫通点の石を安産の御守りにするならわしが始まったといわれています。

又、近年では受験生が「難関突破・初志貫徹」の意味から、大願成就の守護石として珍重されています。

大野油坂道路

荒島第1トンネル

発注者 国土交通省近畿地方整備局

施工者 大成建設株式会社

株式会社 安藤・間